

《履修上の留意事項》保健師養成コース希望者は、必ず履修すること。

《担当者名》田中裕子 yta@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

地域で生活する精神障害者と家族の健康と生活の特性を理解し、支援の展開のための理論と方法を説明できるよう学習する。

【学修目標】

1. 精神障がいをもつ人と家族の生活や健康課題をアセスメントし、支援計画の方向性を説明できる。
2. 地域の人々と協働して、精神障がい者の健康課題の解決・改善を行い、健康増進能力を高める方法を説明できる。
3. 地域の精神領域における健康危機管理を説明できる。
4. 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な利用と配分を促進する方法を説明できる。
5. 社会病理を背景とする精神的問題について理解し、公衆衛生看護活動のあり方を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	地域精神保健活動の学び方 精神保健福祉の動向	学習目標と学習方法 精神保健福祉の動向	田中
2	精神障がい者の生活と保健師の支援 (1)	統合失調症を抱える人と家族の生活 発症・入院・退院後の生活	田中
3	精神障がい者の生活と保健師の支援 (2)	統合失調症を抱える人と家族の生活 発症・入院・退院後の生活	田中
4	精神障がい者の生活と保健師の支援 (3)	統合失調症を抱える人と家族の生活 発症・入院・退院後の生活	田中
5	精神障がい者の生活と保健師の支援 (4)	統合失調症を抱える人と家族を支えるための地域保健活動(1)	田中
6	精神障がい者の生活と保健師の支援 (5)	統合失調症を抱える人と家族を支えるための地域保健活動(2)	田中
7	地域の精神領域における健康危機管理	精神領域の健康危機：法制度と行政の介入 精神科病院に対する指導監督とその意義	田中
8	健康を保障する社会資源	障害者総合支援法における支援システム 市町村及び保健所の精神保健福祉対策	田中
9	社会病理を背景とする精神的問題 (1)	アルコール・薬物関連障害と公衆衛生看護活動	田中
10	社会病理を背景とする精神的問題 (2)	うつ・気分障害と公衆衛生活動看護活動	田中
11	社会病理を背景とする精神的問題 (3)	摂食障害と公衆衛生看護活動	田中
12	社会病理を背景とする精神的問題 (4)	自閉症スペクトラム障がいと公衆衛生看護活動	田中
13	社会病理を背景とする精神的問題 (5)	暴力問題と公衆衛生看護活動	田中
14	社会病理を背景とする精神的問題 (6)	社会的ひきこもりと公衆衛生看護活動	田中
15	地域精神保健における保健師の専門性	まとめ	田中

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

参加態度及びディスカッション40%、定期試験60%

【教科書】

- 1.宮本ふみ著：無名の語り,医学書院
- 2.中谷芳美他編著：標準保健師講座3，対象別公衆衛生看護活動，医学書院，第4版

【参考書】

- 1.岡本玲子編，公衆衛生看護学テキスト3 公衆衛生看護活動，医歯薬出版株式会社，第1版

【備考】

学習方法 第9～14回の学習は，事前課題とディスカッションにより行う。

【学修の準備】

- ・事前課題を行い、授業に参加すること。（事前課題：2時間）
- ・学習は受講生とのディスカッションと講義により行う。
- ・欠席した場合は、次回授業の前までに講義資料や提出物を必ず確認すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3

【実務経験】

保健師

【実務経験を活かした教育内容】

行政における保健師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。